

三井住友海上保険からの柔道着贈呈式における
梅田邦夫在ブラジル日本国大使挨拶

2016年4月14日（木）ブラジリア@ミウラ道場

皆さん、こんばんは。

始めに、ブラジリアに柔道着30着、ブラジル全体で120着を御寄附いただきましたブラジル三井住友海上保険の井上社長に御礼申し上げます。また、このような式典の機会を設けていただきましたルイズ・ゴンザーガ（Luiz Gonzaga）ブラジリア柔道連盟会長、タケシ・ミウラ師範に厚く御礼申し上げます。

今回の柔道着の贈呈は、日本政府による「スポーツ・フォー・トゥモロー」事業の一環です。その目的は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツの価値を全世界に広めていくことです。ブラジルでは、特に両国で人気のある伝統的な武道である柔道を通じ、子どもたちへの支援や青少年の健全育成といった観点から、「スポーツ・フォー・トゥモロー」を推進していきたいと考えています。

さて、三井住友海上保険とミウラ道場について簡単にご紹介いたします。

三井住友海上保険は、女子柔道部を有し、世界選手権やオリンピックでこれまでにたくさんのメダリストを輩出するなど、長年にわたり柔道の発展に貢献している企業です。6月18日（土）に開催されるブラジリア日本祭りには、同社の社員であり、女子柔道の世界選手権金メダリスト（2009年ロッテルダム及び2010年東京）、2012年ロンドン・オリンピック銅メダリストである上野順恵選手（現コーチ）がデモンストレーションを行う計画があります。本日、ご出席の柔道関係者の皆様にも是非ご参加いただきたいと思いますと考えております。同社のご協力に改めて感謝申し上げます。

ミウラ道場は、今回の「スポーツ・フォー・トゥモロー」の事業を行うのに最もふさわしい場所です。ミウラ師範は、道場創設時（1966年）から、教え子たちへの支援（食事や道着の提供、月謝免除等）をされてきました。現ブ

ラジリア柔道連盟会長、ルイズ・ゴンザーガ氏も、そのような支援を受けた一人であると聞いております。また、今年は、ミウラ道場創設50周年であり、このような記念すべき年に日本から柔道着の贈呈ができることを大変嬉しく思います。

最後に、本日参加された皆様に3点を祈念申し上げ、私の挨拶といたします。

1つは、「柔道の技術の成長だけでなく、礼儀、規律、忍耐力、他者の尊重といった健全な柔道の精神もしっかりと学んでいくこと」です。

2つ目は、「将来、ブラジル、そして世界で尊敬される有能な柔道家になること」です。

3つ目は、「柔道を通じて、日本とブラジルのパートナーシップをさらに発展させていくこと」です。

どうもありがとうございました。